

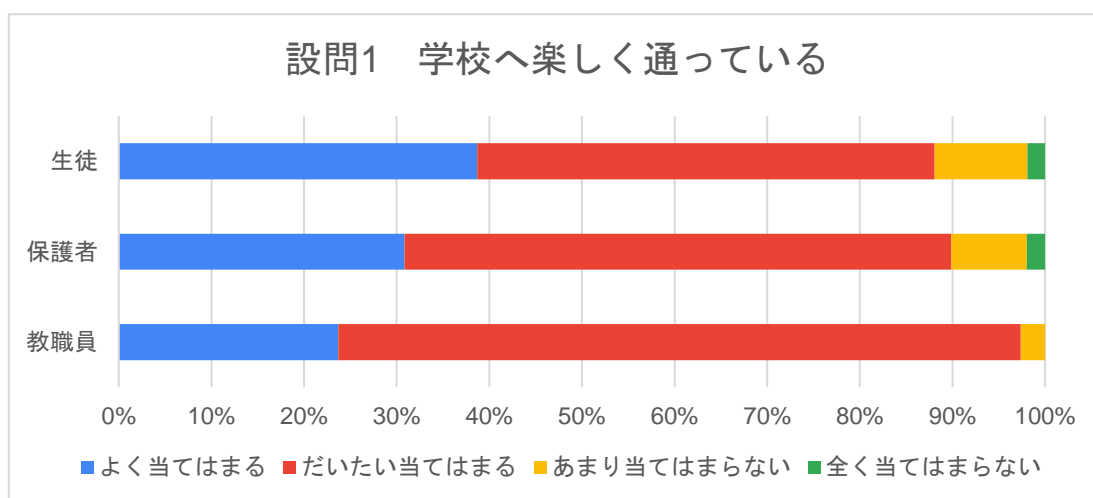
令和5年度学校評価アンケートの集計結果について

毎年、本校の教育活動を見直し、次年度以降の教育計画に生かすことを目的として、生徒・保護者・教職員を対象に学校評価アンケートを行っています。今年度も12月(一部1月)に実施いたしました。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。

その集計結果を、分析とともにお知らせいたします。

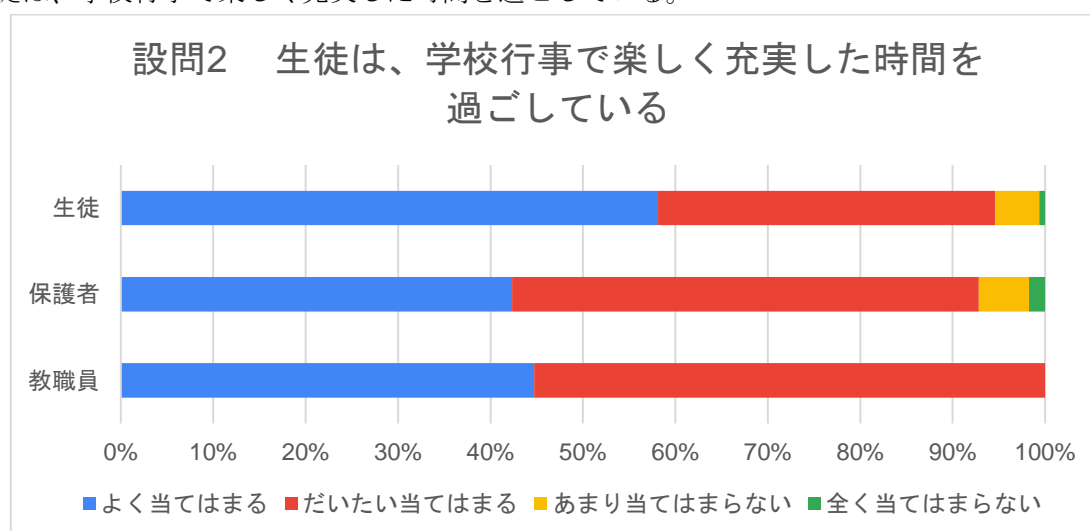
結果と分析を、今後の学校運営に役立てていきます。

1. 生徒は、学校へ楽しく通っている。



学校生活では、さまざまなことが起こります。それは生徒にとって必ずしも楽しくうれしいことばかりではないかもしれません。しかし、それを乗り越えて自分の進む道を切り開き、「楽しい」と感じられるよう努力する姿に頼もしさを感じます。一方で、学校の中で心を許せる人を得られなかったり、学校に行きたい気持ちになれなかったり、体調が整わなかったりと、学校に居心地の良さを感じられずに迷い苦しむ姿には心を痛めています。学校は、それぞれの生徒の心や体の状態を理解し、サポートしていきたいと思っています。

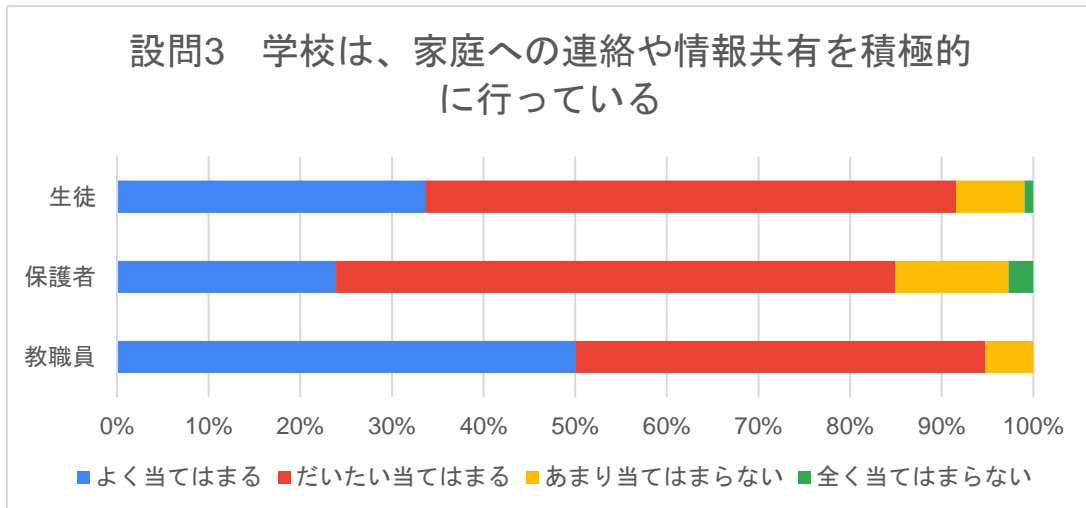
2. 生徒は、学校行事で楽しく充実した時間を過ごしている。



コロナによる制限はほぼ受けない状態での行事開催でした。保護者の皆様にも、人数制限などはせず

にお子様の活躍する機会をご覧いただく機会が得られたものと思います。行事をきっかけに新たな交友関係が生まれたり、これまで取り組んだことがなかったことにチャレンジしたり、と普段の授業とはまた違った広がりを見せるのが行事です。生徒同士、考えの違いや思いの行き違いからトラブルになることもあります。最終的には自分たちで調整し、上手に楽しんでいたと思います。しかし、「行事が苦手」という生徒もいます。理由はそれぞれですが、学校は「行事は誰もが楽しむべき」「行事は参加するもの」という決めつけに陥らないよう、個々への対応を心掛けました。

3. 学校は、家庭への連絡や情報共有を積極的に行っている。

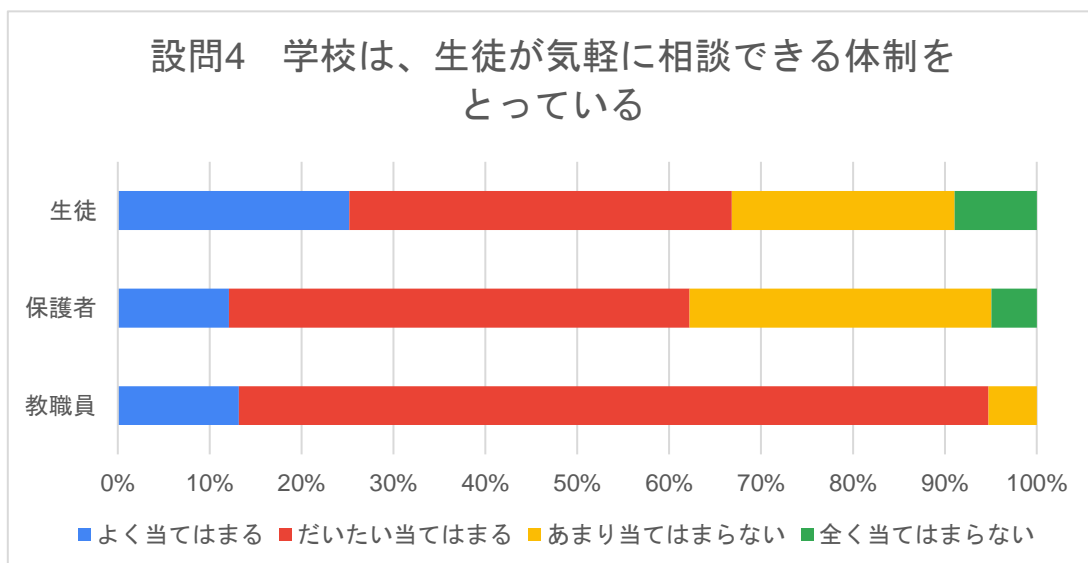


2学期の終業式の日、生徒指導上の懸念を保護者の皆様にeメッセージでお伝えしました。生徒(お子様)を、学校と家庭が連携して見守っていききたい、という思いからです。「北中学校は落ち着いた学校」と周囲の方々からも言っていただいています。そういう中での触法行為の知らせに驚かれた方もいらっしゃることでしょう。

学校は常に、学校が把握した事実をご家庭にも知っていただき、一緒に生徒(お子様)を支えていきましょう、というスタンスです。個別のご家庭に直接ご連絡させていただくこともあります。

今後も、学校からの連絡、広報にも努めつつ、ご家庭と情報共有していききたいと思っています。

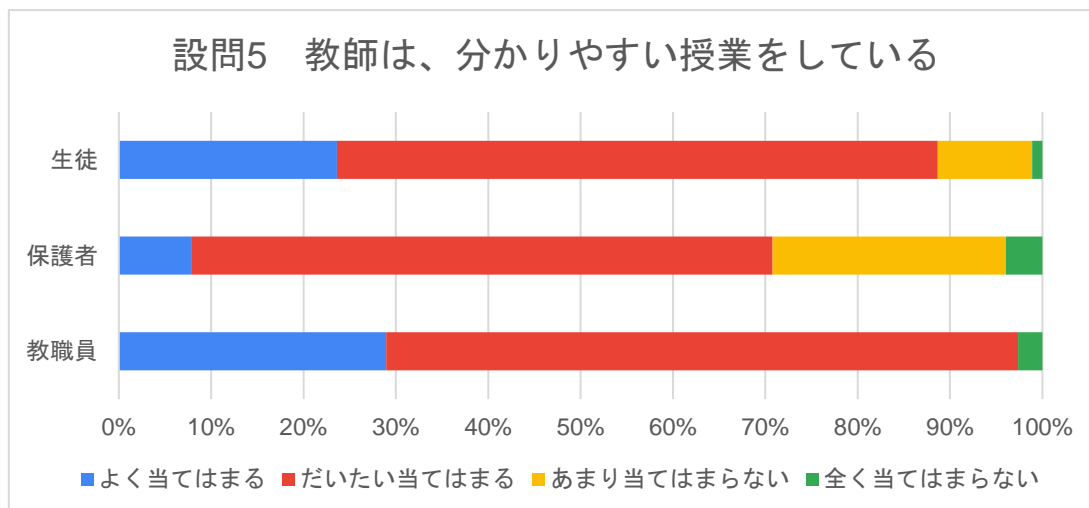
4. 学校は、生徒が気軽に相談できる体制をとっている。



本校では、「全職員で全生徒を見守る」ということを目指し、学年や学級を超えて生徒に関する情報を共有し、声をかけるよう努めています。しかし、この設問に関する回答は昨年度とほぼ同じで、生徒・保

護者ともに30%以上が「学校に、気軽に相談できる体制がない」という結果でした。教職員は「いつでも相談してほしい」という思いですが、今後は、生徒が相談したいと思った時にどのような方法で発信するか、誰がそれを受け止めるかなどを具体的に生徒に周知できるようにしたいと思います。

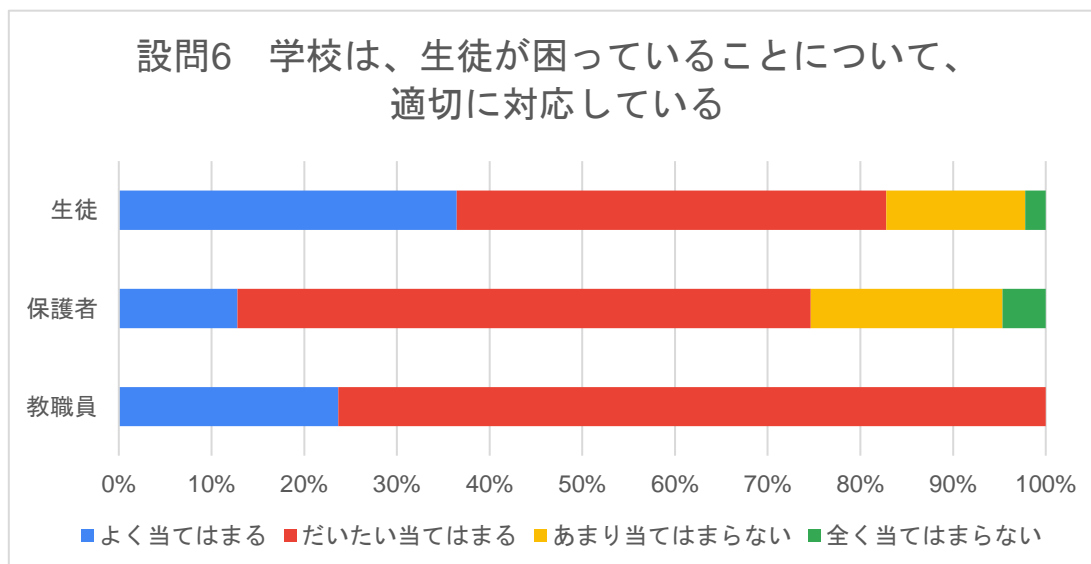
5. 教師は、分かりやすい授業をしている。



現在の教育活動では「主体的・対話的で深い学び」という視点から、「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視しています。講義型授業で知識を受け取るだけでなく、生徒が主体的に考え、仲間との対話を通して考えを深めたり広げたりする、アクティブ・ラーニングと言われる方法も取り入れています。一問一答式ではなく、複雑に思考を巡らせることもあるので、簡単ではないかもしれません。

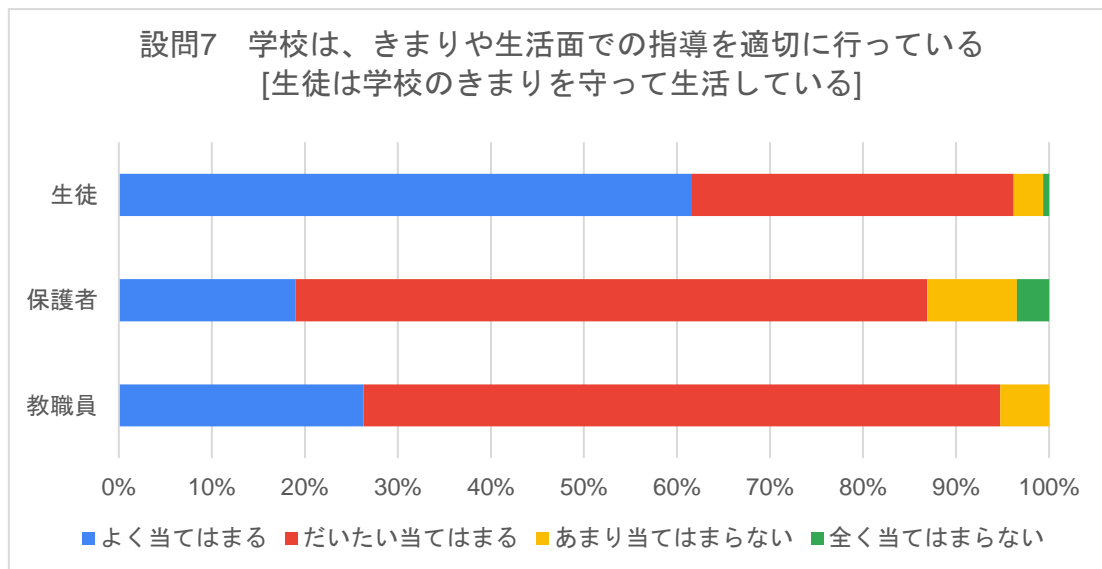
基礎学力の定着を図りつつ、考える力を養っていききたいと思います。

6. 学校は、生徒が困っていることについて、適切に対応している。



生徒が困っていることに対して、教師が解決しようとしてくれている、と多くの生徒が感じています。その一方、充分でないと感じている生徒や保護者もいます。生徒の悩みは多岐に渡っています。まずはその「困っていること」「悩んでいること」を生徒が言葉にできるように働きかけていきたいと思っています。

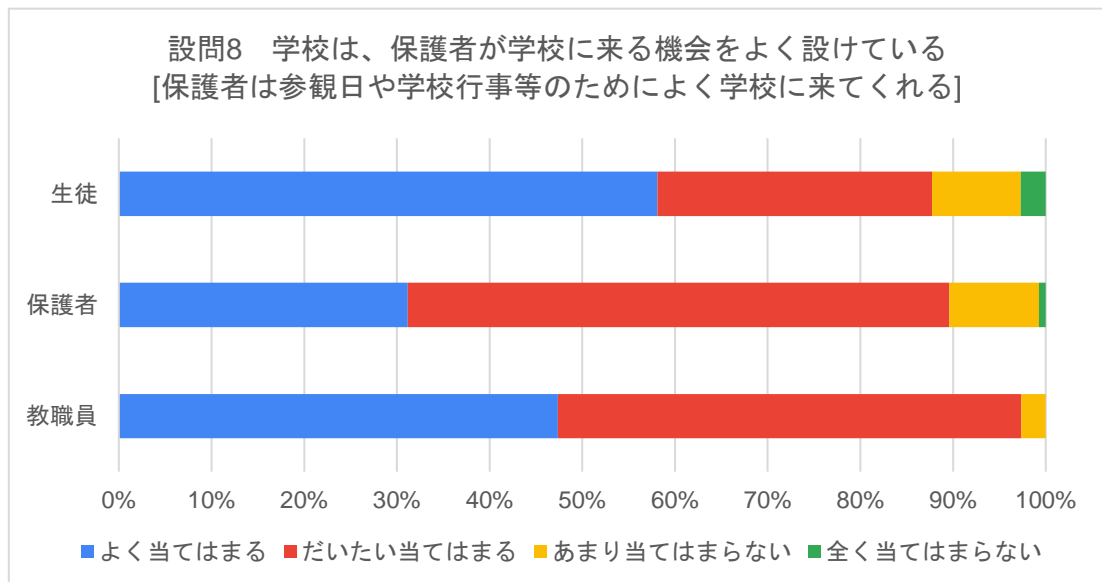
7. 学校は、きまりや生活面での指導を適切に行っている[生徒は学校のきまりを守って生活している]。



生徒の規範意識はとても高い状態です。それにより、学校の秩序が保たれています。一部の生徒がルールを守れていないこともありますが、そうした生徒がいることを見過ごしにしない正義感を持った生徒が多数います。集団生活にとって秩序を保つことがいかに大切かをよく理解しているものと思います。

今年度、生徒会執行部が中心となって、校則改訂に向けた活動が行われました。自分たちのルールについて自分たちで考える、という経験を通して、「そのルールはなぜあるのか」に思い至ることができるようになることを願っています。

8. 学校は、保護者が学校に来る機会をよく設けている[保護者は参観日や学校行事等のためによく学校に来てくれる]

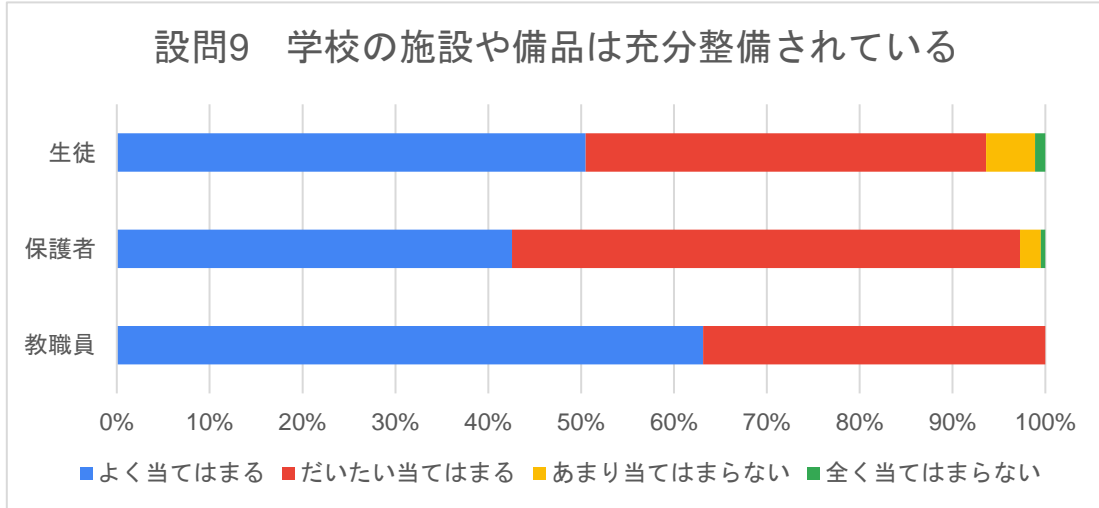


体育祭(体育の部)と文化祭(文化の部)が、「学校祭」として2日連続で行われるのが4年目になりました。準備や練習から本番への流れも定着しました。2つの行事として分けて実施するのではなく、一つの流れとして行うことで、内容を精査して充実させたり、授業時間数を確保したりすることに効果を上げています。

今年度、保護者の方から「2日連続では仕事を休みにくい。2つを分けて実施できないか」とのご意見

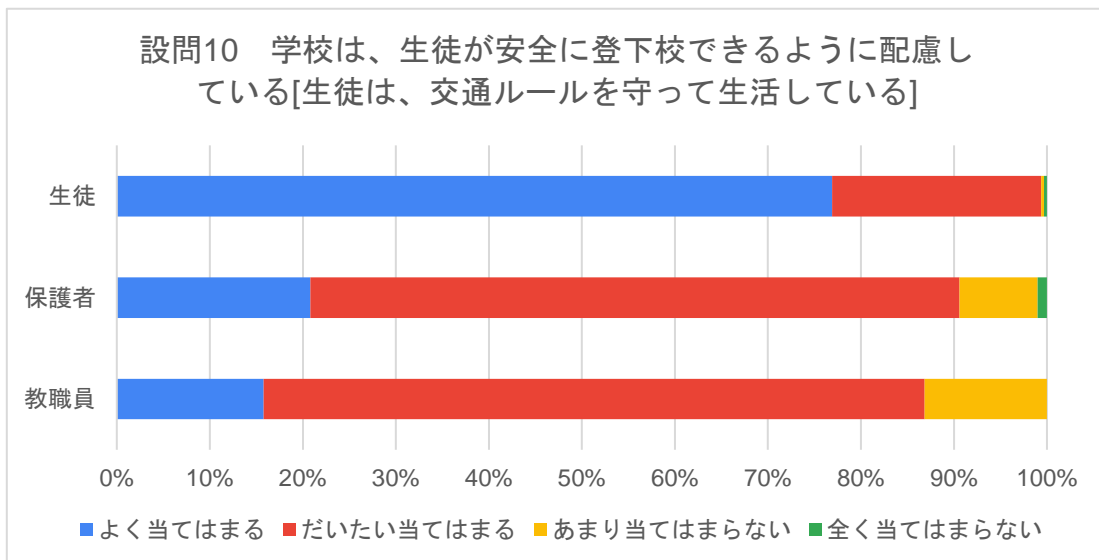
をいただきました。もっともなことと思います。しかし、他の行事との兼ね合いや入試日程が早まったり成績の出し方が変更されたりするなどし、さまざまな要件を考え合わせての選択です。保護者の方にお子様の活躍をご覧いただきたい思いはやまやまなのですが、ご理解いただければと思います。

9. 学校の施設や備品は充分整備されている。



創立から11年が経過した学校とは思えない校舎は、歴代の北中生たちが熱心に清掃活動を行っていることの賜物です。「きれいな学校をよりきれいに」という思いが、これからもずっと受け継がれていくことを願っています。備品や消耗品は、SDGsの精神をもって大切に使うことができるよう、引き続き指導していきます。

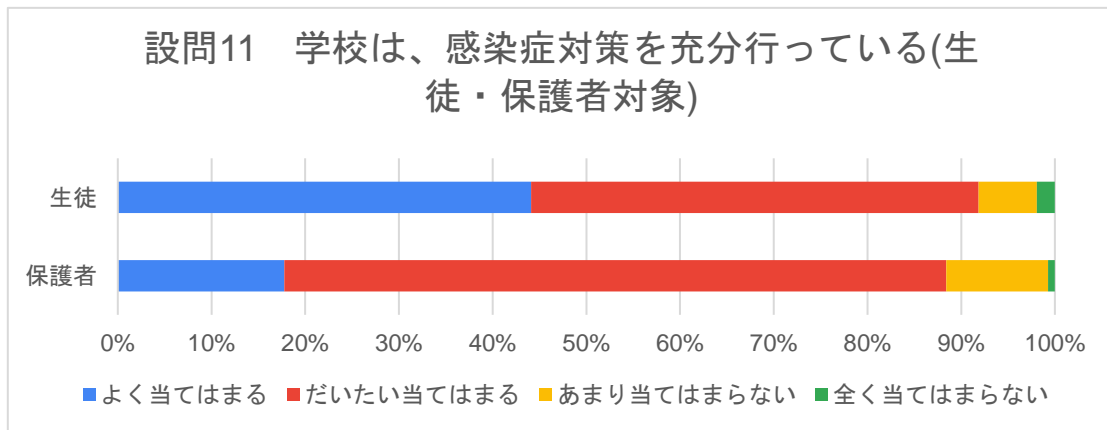
10. 学校は、生徒が安全に登下校できるように配慮している[生徒は、交通ルールを守って生活している]。



年々、夏のゲリラ雷雨がひどくなっており、雷を避けて安全に生徒が下校できるようにすることに頭を悩ませています。雨雲レーダーとの闘いです。急な下校や最終下校時刻を過ぎての学校待機など、保護者の皆様にはご心配をおかけしますが、生徒の安全が第一ですので、ご理解ください。

先日、愛知警察署交通課の方からお話を伺う機会がありました。中学生の交通事故に多いのは、乱横断によるものだそうです。徒歩でも自転車でも、周囲に注意を払わずに、道路を急に斜めに横断するなどして自動車にはねられるというケースです。学校でも指導しますので、ご家庭でも具体的な場所などを示しながら危険性についてお話いただければと思います。

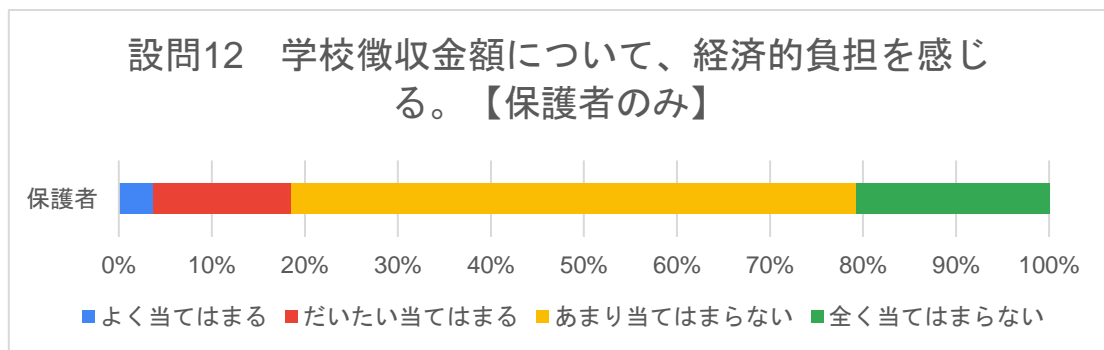
11. 学校は、感染症対策を充分行っている(生徒・保護者対象)



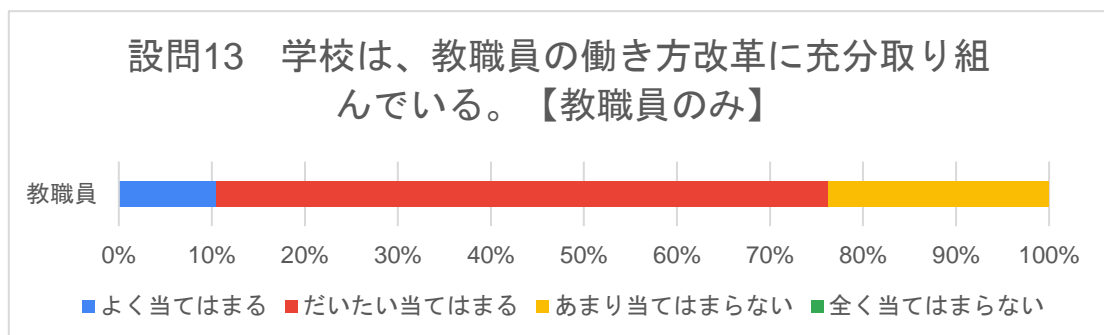
今年度が始まってからも、新型コロナウイルスが5類感染症に移行するまで少し間がありましたので、この設問を残しました。来年度からは省きます。

5類になってからも新型コロナウイルスに感染する生徒は数多くいますし、インフルエンザ罹患者もいます。コロナ禍を通して得た「身を守る方法」は、今後もそれぞれに生かしていくことができれば、と思います。学校は、状況を見ながら対応レベルを変更していきます。

12. 学校徴収金額について、経済的負担を感じる。【保護者のみ】



13. 学校は、教職員の働き方改革に充分取り組んでいる。【教職員のみ】



アンケートの結果については、昨年度のものから大きく変化している項目はありませんでした。そこには少しの安心感と、この1年間改善を目指して対策してきたことの効果があまり得られなかった、という大きな反省があります。

アンケートのみならず、保護者の皆様や地域の方々等から、さまざまなご意見や叱咤激励をいただいております。「学校に意見や要望を伝えても、それが教育活動・対応に反映されていない」と思われる向きもあろうかと思いますが、学校は皆様からいただいたご意見・ご要望を真摯に受け止め、職員や教育委員会と共有しております。その上で、「生徒の利益」を最上段とし、多角的に考えて判断しております。

学校と家庭は「生徒(子ども)の利益」「生徒(子ども)の健全育成」という共通の願いをもっています。今後とも、「子どもたちのために」を合言葉として、学校と家庭が協力していけますことを心より願っております。どうぞよろしく願いいたします。

アンケート回答数

生徒 630

保護者 406

教職員 38